

CSR活動として何をすべきかー対応すべき5つのポイントー

対応すべき5つのポイント	対応するプログラム
1. バリューチェーン 自社のバリューチェーンの整理	A, B
2. ステークホルダーエンゲージメント ステークホルダーエンゲージメントの整理、実施	A, B
3. CSR課題の特定、範囲の特定 自社の影響について洗い出し、優先順位付けし、どこでその影響が発生しているかの範囲を特定する	C, D, E
4. 負の影響への対処 自社の影響への対処	F, G, H, I, J
5. 透明性の向上（CSR報告書作成） グローバルな報告フレームワーク（GRI等）を参考にし、報告書を作成、発行	K, L

プラットフォーム

SHE

- ・日本(5~7月)
(3か国の課題も含め日本で議論)
- ・タイ、マレーシア、ミャンマー(5~6月)
- ・パーム油(小規模農家)(1~6月)
※2018年:ベトナム、インドネシア



苦情処理メカニズム(GM)

- ・GM勉強会(1~5月)
- ・GMガイドライン策定(5月)
White Paper作成
- ・世界との合意形成(7月)
@スイスのCaux
- ・GMパイロット開始(10月)

B&HR国際会議 in 東京 2017.9.11-15

＜責任あるサプライチェーン＞
SHE
GM(KAIZEN メカニズム)
個別企業のダイアログ

国連 Forum on B&HR

日本やアジアの存在感を世界に示す



Mega-Sporting Events & HR



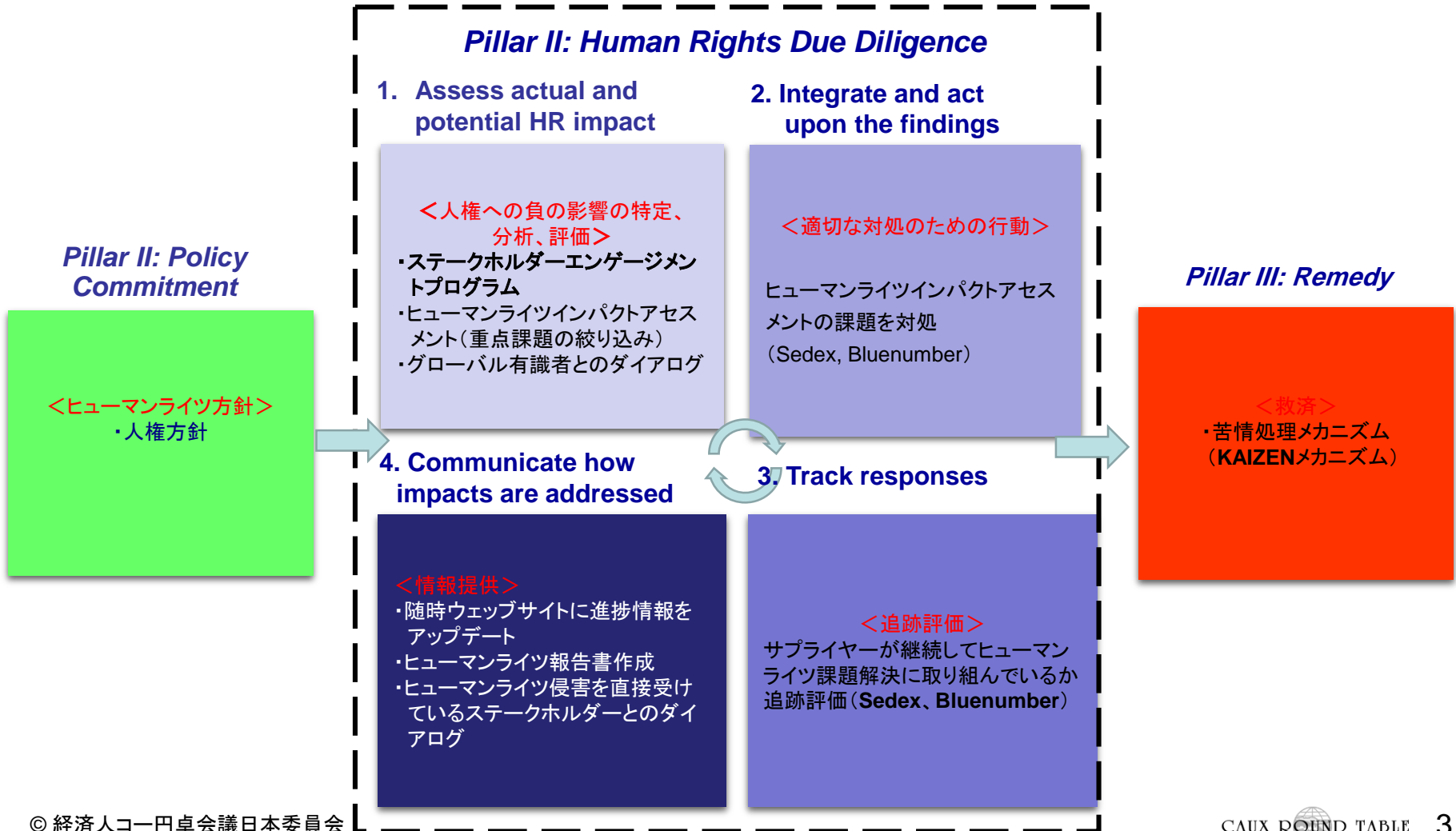
CHRB

- ・ビジネス&ヒューマンライツベンチマーキング(CHRB)の浸透普及(1~5月)
- ・ESG投資家とのダイアログ
8月:ロンドン、ニューヨーク



個別企業向けフレームワーク

国連の「ビジネスと人権の指導原則」の観点から見た
人権デューデリジェンスのプロセス



サステナブルナビゲーション

マルチSHダイアログ

HRIA

活動の実施

レビュー

報告



ステークホルダーエンゲージメントプログラム

HRIA: ヒューマンライツ インパクトアセスメント

